

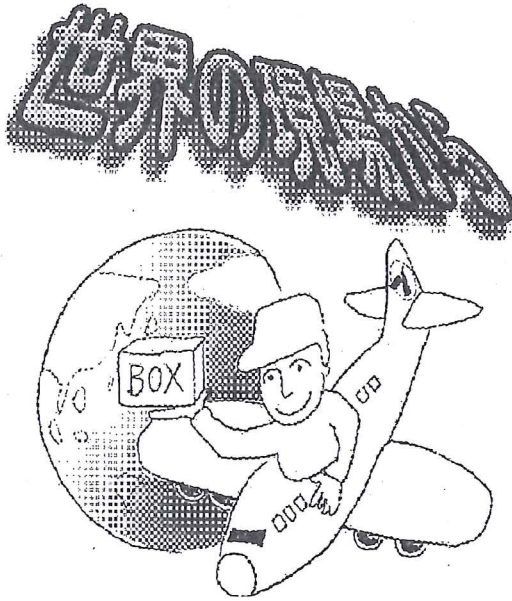
今、日本では成長戦略として「企業の女性登用」を促進するため様々な施策が打ち出されていますが、安定的に働ける環境を整えることも重要です。欧州の段ボール工場の取り組みを追ってみました。

段ボール工場は、以前より女性にとっても働きやすくなりましたが、まだまだ女性にとってきつい作業が残存します。積極的に省力化機器を考案、普及に努めているスペイン・セラ機械製造(株)のユニークな技術を3回に分けてレポートします。

ロータリーダイカッタ イカッタユニットの上はヨーロッパでも部に取付けられたクレ普及していますが、抜インのような発想の字型が重いのが玉にキズ。ベニヤに代わる軽量材の研究も行われていますが、コストの問題

イカッタユニットの上部に取付けられたクレインのような発想の字型が重いのが玉にキズ。ベニヤに代わる軽量材の研究も行われていますが、コストの問題

女性が働き易い現場へ



第3回

また、フレームは回転するため機械外への移動ができ、ボタン操作でロータリー抜型を縦置き可能。「セラーム」は同社のワンタッチ抜型固定システム「セラピッド」、ロータリーダイ保管システム「セラストック」と併用することでさらにストレスフリーの楽しい現場を実現します。

質問・問合せは有功社シフト貿易部03-3949-9930へ。次回掲載予定は11月7日号。

